

## 一般社団法人日本CFO協会2016年度事業報告書

自2016年4月1日 至2017年3月31日

### 1. 事業報告

当期も、BREXITや米国大統領選挙といった経済情勢に大きな影響を与えた政治的事象や、テロをはじめとした地政学的リスクなどの大きな環境変化がありました他、第四次産業革命、AI革命などと言われる情報技術の飛躍的進展に支えられた大きなビジネスモデルの変化が進展するなど、CFOや経理・財務部門に従事する会員の皆様にとって環境変化の大きな一年でした。不透明さを増すグローバル経済における、日本企業の経営財務管理領域の高度化に向けたニーズは強く、当期も新しい取り組みを含め多くのサービスを会員の皆様にご提供させて頂きました。具体的な活動内容は以下の通りです。

#### (1) 教育・啓蒙活動

- ・ 会員に対する情報提供の場として開催しているCFOセミナーを、以下の通り計16回開催しました。

(開催日)	(セミナータイトル)
4月21日	英国のEU離脱に関する国民投票が財務・税務に与える影響
5月19日	M&Aにおける知的財産の重要性
6月2日	上昇を続ける「海外現法従業員福利厚生保険コスト」への対応
6月16日	CFOのための間接費マネジメント
7月7日	PPA (Purchase Price Allocation) の考え方
7月21日	データを活用したリスクファイナンス
9月15日	為替にまつわる10の『誤常識』
10月6日	グローバルガバナンス・ERMの最新動向とCFOリーダーシップ
10月20日	ICTの技術革新が既存の産業、企業を破壊する
10月28日	経理課題トレンド・キャッチアップ研修会
11月17日	投資家と対話できる企業、できない企業
12月1日	働き方革命—Digital Laborの出現による仕事の47%が無くなる!?
1月19日	CFOに求められるコーポレートガバナンスの実効性と監査役機能の強化
2月2日	経営者のための在庫「鮮度管理」のススメ
2月16日	VUCA時代に成功するための3つのポイント
3月2日	グローバル化に欠かせない、キャッシュフローデータの戦略的活用
- ・ 啓蒙活動の観点より会員の方以外にも対象を拡大し広くご案内を行ったイベントとして、当期も以下のイベントを開催しました。

7月13日	CFO NIGHT!!2016
8月22日	連結決算実務フォーラム
12月13日	CFOフォーラム・ジャパン
3月3日	グローバル財務フォーラム (Treasury Night)

- ・ 2014年度に発足したテーマ別の部会「M&A部会」「グローバル財務部会」「国際税務部会」「グループ取引先管理部会」および、個人会員限定の部会として昨年度に発足した「CFOリーダーシップ部会」を当期も継続して開催しました。
- ・ オンライン情報誌「CFOFORUM」を毎月発行しました。
- ・ 中部地区の活動としてPwCあらかた監査法人との共催にて実施している中部地区「経理役員・部長懇話会」を、12月2日、3月2日と2回実施しました。
- ・ 明治大学国際総合研究所の研究会（MIGA）が開催する「グローバルファイナンス研究会」に協力しました。
- ・ 経済産業省が事務局を行う「高度金融人材産学協議会」に当期も企画協力しました。
- ・ SMBCコンサルティング株式会社と共催で、次世代のビジネスリーダー育成を目的とした課題解決型ビジネススクール「CFOラボ」を創設致しました。3月28日には、CFOラボ発足記念講演会を開催しました。

## （2） 資格・検定活動

- ・ 一般社団法人金融財政事情研究会と共同で実施しているプロフェッショナルCFO資格試験の受験者数は277人と前期比83人の増加となりました。
- ・ 経済産業省経理・財務人材育成事業経理・財務スキル検定（FASS検定）の受験者数は4,865人と前期比129人の増加となりました。
- ・ 経済産業省平成23年度委託事業を受けて開発したグローバルFASSテストの受験者数は209人と前期比29人の減少となりました。
- ・ 専門性の高い実務領域のスキルを可視化するための施策として昨年度導入致しました「連結決算実務検定の受験者は66人となりました。
- ・ 当期末時点における資格認定者数は、ジェネラルCFOが491人、グローバルCFOが362人、プロフェッショナルCFOが258人、スタンダードCFOが368人となり、CFO資格認定者は合計で1,479人となりました。

## （3） 調査・研究活動

- ・ 経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を以下のテーマにて6回実施しました。
  - 「リスクファイナンスにおける現状と課題」
    - 戦略的リスクファイナンス体制の確立に向けて-
  - 「未来志向のリーダーシップとキャリアマネジメント」
    - ～未来、リーダーシップ、キャリアに関する意識調査～
  - 「事業のグローバル化に伴う財務・リスク管理体制の実態と課題」
  - 「デジタルテクノロジーと経理・財務部門の高度化」
  - 「出張費用のマネジメント」
  - 「連結決算実務に関する現状と課題」
- ・ 財務マネジメント・サーベイの結果をもとに以下の研究会を開催しました。
  - 5月19日 間接費請求書支払に関する研究会
  - 11月18日 事業のグローバル化に伴う財務・リスク管理体制の実態と課題
  - 12月21日 デジタルテクノロジーと経理・財務部門の高度化

#### (4) 会員数

- ・ 個人会員の新規入会者数278人、法人会員の新規入会社数16社で、当期末の会員数は個人会員が1,920人、法人会員は206社となりました。

#### (5) 損益の状況

- ・ 売上高は115,050千円と前期比1.9%減少しました。  
会費収入につきましては、入会金収入は4,608千円と前期比8.4%増加、年会費収入は62,884千円と前期比1.7%増加しましたが、当期の開始予定であったテーマ別の部会の開始時期が遅れて来期の開催となったことから部会会費収入は2,908千円と前期比67.8%の減少となりました。受験料収入は39,652千円と前期比9.4%増加しました。
- ・ 費用につきましては104,730千円と前期比2.3%増加しました。
- ・ 売上高の減少を受けて営業利益は10,518千円と前期比29.8%減少しました。
- ・ 当期純損益は12,808千円と前期比で21,728千円の増益となりました（前期純損益は15周年記念行事による特別損失計上のため▲8,920千円の赤字決算でございました）。

## 2. 2017年度の活動

### (1) 活動計画

2017年度におきましても、より一層の会員サービスの充実を目的として、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において、引き続き従来の活動を継続して質の向上に努めていきます。特に、これまで活動を休止しておりました現役CFOの懇談会「CFOラウンドテーブル」ならびに次世代CFOの勉強会「次世代CFO部会」を再開しますほか、デジタルエコノミーに対応した「AI・ロボティクス部会」の新設など、多様化するニーズにお応えできるだけテーマ別の部会を拡充させていきます。また、多忙な会員の皆様のご要望に応えるべく、オンラインで各種セミナーや研修を聴講できる動画形式によるコンテンツをより充実させていく予定です。

### (2) 事業予算

2017年度は、入会金収入7,200千円、会費収入64,000千円、部会収入13,000千円、受験料収入46,000千円を予定しており、売上高は135,800千円（当期比18.0%増）を計画しています。また、純損益は10,130千円を予定しています。

以 上